

COOP-JOSO News Letter

2019年9月3回号 発行/常総生協広報G

2019年度活動テーマ「JOSO食材でかんたん・うちごはん」

＼新米／9月3回から水海道のお米 「めぐみちゃん」がスタートします！

今年も9月3回から水海道のお米「めぐみちゃん(コシヒカリ)」がスタートします。めぐみちゃんとは、生産者である「東町特裁米耕作者組合」と常総生協がお付き合いを始める時に付けたお米のブランド名です。めぐみちゃんの産地である常総市は、一級河川の鬼怒川・小貝川に挟まれ、肥沃な大地が広がる米作りに好条件な地域です。コシヒカリの特徴である甘みと粘り気のある食感を、米作りのプロたちが最大限引き出しています。



↑めぐみちゃん生産者の方々

●常総生協とめぐみちゃんの歴史

◆出会い

さかのぼること1993年。全国的な不作による「米不足」が発生した年です。この年、どこの生産者や取引先からもお米の入手が困難だった時、私たちの地域の「東町特裁米耕作者組合」の皆さんが常総生協へ新米を全量出荷してくれました。

◆農薬空中散布の廃止

当時、東町は農薬の空中散布が行われていました。常総生協では生産者に自然なままの安心なお米を組合員に届けたいと、空中散布の中止を提案をしました。最初は反対もされましたが、頻りに田んぼに通う事でお互いの事を知るようになってきました。そして、生産者と生協が一丸となり空中散布を除外するよう運動を始め、その2年後に空中散布の除外地域指定となりました。

◆限りなく農薬をゼロに

1999年より「農薬無散布でお米を作れるかどうか」組合員と共に無農薬実験田を開始。

(今年も9/28(土)に稲刈りをします。お知らせは別途配布致します)

毎年生産者の努力で農薬成分量を減らし、現在は初期除草剤1回までに抑えています。

めぐみちゃんの「実験田」は単なる田植え・除草・稲刈りの体験の場だけではありません。たとえば、宮城の黒澤さんのお米は無農薬で作っているのであれば、この地元の水海道でも同じように無農薬で作れるのではないかと考えたからです。生産者の方も「初期除草剤を無くすのは難しい」とのことです。今年も実現はしていませんが、この実験田だけは無農薬でやる！とこちらの「意地」のような気持ちもあります。

◆共に歩む生産消費運動として

常総生協と東町特裁米組合は単なる「取引先」ではなく、組合員に安心して食べてもらえるお米を共に作り続けてきました。そのめぐみちゃんが今年も新米として登場します。地場のお米を食べて、太陽と土の「めぐみ」をいただきます！

＼新米情報／実りの秋をご堪能ください！

生産者					
包材					
商品名	<p>・宮城・黒澤さんのひとめぼれ(白米、玄米、7分、5分)→10月3回新米スタート</p> <p>・宮城・黒澤さんのコシヒカリ(白米、玄米、7分、5分)→10月4回新米スタート</p> <p>・宮城 黒澤さんのおもてなし(白米)→9月2回新米※その回のみの限定品</p>	<p>・水海道のめぐみちゃん(白米、玄米)→9月3回新米スタート</p>	<p>・やさとお米(白米、玄米)→10月1回新米スタート</p>	<p>・おきたまのひとめぼれ(白米、玄米、胚芽精米)</p> <p>・おきたま つや姫(白米、玄米、胚芽精米)</p> <p>→ひとめぼれ、つや姫共に10月3回新米スタート</p>	<p>・鯉淵学園のコシヒカリ(白米、玄米)→10月1回新米スタート</p>
生産者名	黒澤さん	東町特裁米耕作者組合・JA常総ひかり	JAやさと稲作部会	おきたま興農舎	鯉淵学園
所在地	宮城県遠田郡涌谷町	茨城県常総市	茨城県石岡市山崎	山形県東置賜郡高島町	茨城県水戸市
生産者の人数	黒澤さん一家	11人	62人	15人	鯉淵学園水稲専攻学生
防除の内容と回数 ★ネオニコチノイド系農薬不使用	使用なし。	・初期除草剤:1回(成分数3)	・種子消毒剤(成分数2) ・除草剤(成分数2) ・殺虫・殺菌剤(成分数4) ※指定8成分以内で防除を実施。	【つや姫】使用なし。【ひとめぼれ】初期除草剤1回(成分数4)	【コシヒカリ】処理済種子JA購入、初中期除草剤1回、中期除草剤1回(ヒエ対策)【キヌヒカリ】農薬使用無し
合計成分点数(最大値)	0	3	8	【つや姫】0 【ひとめぼれ】4	【コシヒカリ】4 【キヌヒカリ】0
育て方の特徴	肥料は微生物を有効に利用した自家製堆肥を主に農薬や、化学肥料に頼らない有機質肥料だけの栽培。	丁寧な水管理と、除草作業。長年の経験をいかした栽培管理で農薬成分も減らす事に成功。	化学肥料、農薬の使用を慣行栽培の半分以下とした特別栽培米。肥料や農薬についても部会で統一規格を作り、毎年レベルアップに努めています。	肥料等は共通の資材を使用しコスト削減化。除草は「カブトエビ」「マガモ」「米ぬか」「紙マルチ」「人力」等、薬に頼らない米作りをしています。	学生の学びの場からの産物。講師の指導の下、稲作の基本栽培管理を勉強している。農薬の使い方、使わないでも出来るということを教えている。
田んぼの環境	農薬を使わないので毎年カブトエビ(別名:くさとりむし)が大発生!地元のテレビ局も毎年駆けつけてきます。	茨城県南西部を流れる小貝川の福岡堰上流に広がる肥沃な沖積土。美味しいお米が安定的に収穫できます。	旧八郷町は、山地も平地も混在する地域。生物層が豊かな地域でもあります。	置賜地方の暑く夜涼しい盆地 特有の気候で美味しいお米が出来ます。隣接する米以外の作物も、木酢液等で虫を寄せない様に工夫しています。	学校の敷地内にある。学生寮の近くにあり、常に人の目に触れる。有機栽培田の水路には「めだか」が増えている。
ここがちがう!うちの米!	親子3世代にわたっての無農薬・無化学肥料栽培。自家製完熟堆肥を使用。毎年カブトエビが発生するなど生物層の豊かな田んぼです。	93年の米不足の時も常総生協にお米を全量拠出。人情味あふれる生産者達のお米です。組合員との交流の田んぼ(実験田)にて、毎年田植え～草取り～稲刈を生産者がコーチ役になって教えてくれます。	JAやさと管内で飼育される採卵鶏の糞を堆肥として利用。また、精米した時の米ぬかもボカン・餌としても使うことで地域内で循環型農業を実現し、低コスト化にも成功しています。	鉱物資源(サンラテール)を使い、土に団粒構造を持たせ、保肥力ある土作り、おいしいお米作りを実践しています。包材には「バイタルフィルム」を使用し、保存状態の向上にも気を配ります。	鯉淵学園の水田は3町7反歩(3.7ha)の面積があります。有機栽培田は2反7畝。肥料には学内の畜産場で出た牛糞と、近隣の畜産農家から分けてもらっている牛糞を堆肥かして施肥しています。有機の田んぼでは米ぬかや、学食から出る生ゴミを堆肥化して使っています。学生が丹精こめて作っています。

＼フードバンク活動／きずなBOXを設置しました。

フードバンク茨城さんからの呼びかけで取り組みが始まりました「子ども支援プロジェクト」に多くの組合員さんからご協力頂きましてありがとうございます。12月には、第3回目の「子ども支援プロジェクト」が予定されています。生協からは手作りみそをお届けしようと現在仕込中です。

社会的に支援を必要とする人たち、食事提供している団体、社会福祉協議会などに食品を届ける活動をしているフードバンク茨城さんは、「きずなBOX」を設置して食品の提供協力を呼び掛けています。生協本部、戸頭店に設置し、みなさんからのご協力をお待ちしています。来協、来店時にご持参頂くか、供給時に担当に渡していただければ回収いたします。



- このように食品が特に必要とされています。
 - 缶詰
 - お米
 - レトルト食品
 - インスタント麺
 - うどん、そば、パスタ等の乾麺
 - その他、いただきもの、ご家庭に眠っている食品など
- 寄付いただく際の注意事項
 - 常温保存可能、未開封で賞味期限が2ヶ月以上残っている食品
 - 要冷蔵・冷凍食品、及び野菜・果物のような生鮮食品は不可
 - 割れ易い容器の食品は梱包してください。



古着の回収もはじめます

JFSA(NGO団体 日本ファイバーリサイクル連帯協議会)との連携支援活動

**常総生協で取り組む古着、毛布、バックの回収は、
9月23日～10月4日です。**

◎ 7月15日 アル・カーイルアカデミー (AKBG) ムザビル校長の講演会を実施しました。

「JFSA」は千葉にあるNGO団体で、古着を回収しパキスタンに送って、その販売費用をカラ内で古着の販売をしJFSAの活動資金としながら、100トン近い古着をパキスタンに送っています。

パキスタンではその古着をAKBGが販売。売上から、日本から

の送料を差し引き、学校の運営資金にしています。4500名の生徒、220名の先生が在籍しているAKBGはスラム街に隣接する場所に学校を6校建てて、勉強する機会を無償で提供しています。AKBGの運営費用の多くが、この日本からの古着が役にたっています。

◎ 子供たちに広い世界があることを教えたい

生活に追われ、学ぶ機会を得づらい環境にあるスラムの子供たちに、学ぶ意味や自分たちの生活圏の外の世界を教えたいとムザビル校長は言われています。今では女子生徒が大学など高等教育の場に進学したり、卒業生がAKBGの教師になったりとチャンスの機会をひろげる場になっています。私たち常総生協の組合員もこの大きな連帯の輪の一員としてこの活動に取り組んでいきたいと思ひます。

8月24日には職員研修としてJFSAの古着の仕分け体験などに参加をしてきました。



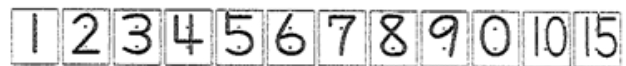
組合員の皆様へご協力をお願い ◆返品・交換、注文用紙記入について

◇商品の返品・交換について

基本的には不良品以外は返品をお受け致しかねます。

農産品	セット時にチェックをしていますが、万一、届いた時点で腐りや傷み等がありましたら生協までご連絡下さい。状態に応じて対処致します。
食品（加工品など）	万一、不良品等（異物、包材不良など）がありましたら、お手数ですがすぐに生協までご連絡ください。
特別企画品 （雑貨、衣類等）	不良品につきましては生協までご連絡下さい。返品交換を致します。 DVD・CDの返品はできませんので、注文の際には十分ご注意ください。

◇注文用紙記入について



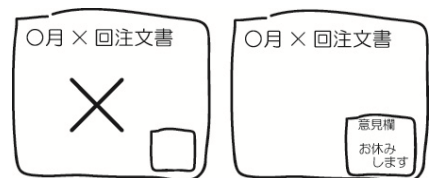
- 1) 注文書はOCR(光学読取機)で処理します。

黒の鉛筆かシャープペンシルで濃く、枠からはみ出さない様に楷書でご記入ください。

- 2) 訂正する時は消しゴムできれいに消してください。もし、ボールペンで記入してしまった場合は、その上から鉛筆かシャープペンでなぞってご記入ください。
- 3) 特別企画品（雑貨など）・「はじめてブック」「今だけセット」など6ケタの注文番号の商品は、注文書の下欄に6ケタに注文番号と数量を記入してください。
- 4) 「別冊カタログ」「JOSO前日OK商品リスト」などのカタログ本誌以外の3ケタ注文番号商品は、注文用紙の右側3ケタに注文番号と数量を記入してください。

◇注文のお休み

- 注文用紙に大きく「×」と書くか、右下にある意見欄に「お休み」と書いて提出してください。
- 長期お休みされる場合は同じように「意見欄」にその旨をご記入いただくか、担当者までご連絡下さい。お休みの間は商品カタログのお届けを一旦止めさせていただきます。ご連絡いただければすぐに再開できます。



※ご連絡なく、8週間以上ご利用がなかった場合、カタログをストップします。

2019年9月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
<p>9月ゴンタの丘「常総っ子応援団」は毎週木曜日に活動しています。試食会は9月26日に開催します。</p> <p>9/2(月)脱原発委員会(常総生協本部) 9/3(火)私たちのくらしと憲法(常総生協本部) 9/4(水)生協まつり実行委員会(常総生協本部) 9/13(金)三浦大根種まき(木村農園) 9/16(月)ゆるカフェ@つくば サマーキャンプ報告会(常総生協本部) 9/21(土)歴史を学ぼう-未来のために(常総生協本部) 9/25(水)定例理事会 9/28(土)常総生協実験田稲刈り(常総市東町)</p>	<p>9/16(月)さようなら原発全国集会(代々木公園) 9/18(水)茨城県生協連 理事会(常総生協本部) 9/20、21(金、土)生協ネットワーク21組織担当者会議 (常総生協本部) 9/28(土)坂東市消費生活展 出展 NPO里山再生と食の安全を考える会 総会 9/28、29(土、日)守谷市商工会まつり</p>